

杉並区ホームページに 「方南一丁目地区防災まちづくり」ページを開設しました！

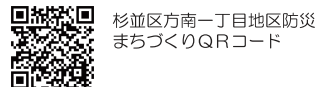
杉並区ホームページに、方南一丁目地区の防災まちづくりを紹介するページを開設しました。

これまでの「方南一丁目地区防災まちづくり通信」のバックナンバーを掲載しています。

今後も、「方南一丁目地区まちづくり検討会」の活動の様子や提案などをご紹介します。



方南一丁目地区
防災まちづくり通信バックナンバー



杉並区方南一丁目地区防災
まちづくりQRコード

不燃化特区支援制度を**延伸**します！

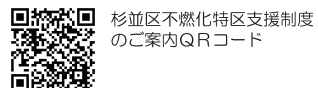
方南一丁目地区では、地区の不燃領域率70%達成を目標に、平成27年より東京都の不燃化特区支援制度を活用し、老朽建築物の除却や建替え等の費用助成、また建替え相談会の開催や戸別訪問の実施など、地区の不燃化に向けた取組を積極的に行っています。

本年度末の地区の不燃領域率は約57%で、事業導入後の5年間で約5.8%上昇していますが、当初事業期間中（令和2年度末まで）に目標数値の達成は困難な状況です。

こうした状況のなか、本年1月に東京都が不燃化特区支援制度の事業期間を令和3年度以降、5年間延伸することを公表したことを受け、区では、方南一丁目地区の不燃化特区支援の取組を令和3年度以降も継続します。



建替え相談会の様子（R2年2月22日方南区民集会所）
不燃化特区の支援制度の一つで、毎回好評の「建替え相談会」、先月22日（土）に方南区民集会所で開催した際にも多くの地域の皆様に、ご来場いただきました。区ではこれからも、定期的に同様の相談会を開催する予定です。
ぜひお気軽にご利用ください！



杉並区不燃化特区支援制度
のご案内QRコード

不燃化特区の延伸については、改めてくわしくお知らせします！



【お問い合わせ】

杉並区都市整備部 市街地整備課 不燃化推進係
電話：03-3312-2111（内線）3365

方南一丁目地区

防災まちづくり通信

発行日：令和2年3月 発行：杉並区都市整備部市街地整備課不燃化推進係

第8号



編集協力：(株)都市環境研究所

方南一丁目地区まちづくり検討会 の活動状況をお知らせします！



「方南一丁目地区まちづくり検討会」は、公募に応募された、地区内にお住いの方や、店舗などを営む方が中心となって、昨年9月に発足しました。

検討会では、地区の防災まちづくりの目標や、必要な取組について意見交換を行い、「（仮）方南一丁目地区防災まちづくり構想」を作成し、杉並区に提案することを目指しています。



第1回検討会の様子

方南一丁目地区まちづくり検討会の活動状況と今後の予定

時期	回	検討テーマ
令和元年度	9月	第1回 方南一丁目地区の防災まちづくりの課題について
	10月	第2回 方南一丁目地区の防災まちづくりの目標について
	12月	第3回 目標「火災・延焼が起きにくいまちにする」について
	1月	第4回 目標「安全に避難できるまちにする」について
令和2年度	第5回	目標「地震直後に人が死なないまちにする」について
	第6回	目標ごとの検討（第2ラウンド）
		「（仮）方南一丁目地区まちづくり構想」案のまとめ
		地区住民への周知、意見募集
		「（仮）方南一丁目地区まちづくり構想」をまとめ、区に提案

区は、検討会からの提案を尊重して「（仮）方南一丁目地区まちづくり計画」を作成し、防災まちづくりを展開していきます。

方南一丁目地区まちづくり検討会でのこれまでの検討内容

第1回 検討会

防災まちづくりの課題を確認

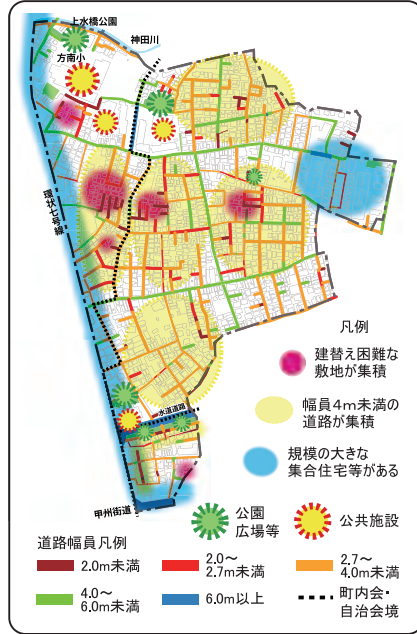
「方南一丁目地区防災まちづくり勉強会」で整理した課題を確認し、意見交換しました。

方南一丁目地区の課題

- ▲木造建物が密集。
- ▲幅員4m未満の狭い道路が多い。
- ▲行き止まりも多い。
- ▲一部の街区では、接道条件が悪く、建替えが困難な敷地も見られる。
- ▲公園が少ない。

検討会の進め方

- 方南一丁目地区で目指す方向を検討
- ハード整備で難しい課題は、身近なこと、現実的なことから始める
- 検討成果を皆が見られるようにする



第2回 検討会

防災まちづくりの目標案を検討

防災まちづくりの目標案について意見交換しました。今後、目標ごとの取組みを検討しながら、目標案の見直しもしていきます。

地震直後に人が死なないまちにする

目標1

- ①建物の耐震性や屋内の安全性を高める（耐震改修等）
- ②屋外の安全性を高める（ブロック塀撤去等）
- ③迅速に救出・救護を行う

火災・延焼が起きにくいまちにする

目標2

- ①出火を減らす、火をすぐに消す（初期消火等）
- ②まちを燃えにくくする（不燃化等）
- ③消防活動を円滑にできるようにする（道路拡幅等）

安全に避難できるまちにする

目標3

- ①適切に避難する（避難方法の周知等）
- ②避難路の安全性を高める（沿道の耐震強化等）
- ③拠点となる場所を確保・強化する（広場整備等）

日常の安全・安心を高める

目標4

- ①身近な生活環境を改善する（ゴミ置き場対策等）
- ②まちの防犯性を高める（街灯整備、空家対策等）

第3回 検討会

目標案2「火災・延焼が起きにくいまちにする」ために必要な取組みとは？

●主な意見

① 出火を減らす、火をすぐに消す

- 街頭消火器設置を、建替える住民に啓発しよう
- 消防水利マップで初期消火の情報発信をしよう
- 賃貸住民などへの情報伝達の方法も検討しよう

② まちを燃えにくくする

- 杉並のみちづくりの方針の主要生活道路の計画幅員は9mよりも6mにして早期実現の方が良い
- 容積率緩和などで、建替えを促進できないか？
- 壁面後退のルール化により、建て詰まりや延焼を防げると良い

③ 消防活動を円滑にできるようにする

- ポンプ車が通れる有効幅員2.5mを確保すべき道路をあぶり出し、拡幅を重点的に進められると良い
- 危険な道をイベント的に皆で点検して、マップを作成しよう
- 幹線道路ではない道路もモデル路線として無電柱化できないだろうか？

杉並のみちづくり(道路整備方針)



第4回 検討会

目標案3「安全に避難できるまちにする」ために必要な取組みとは？

●主な意見

① 適切に避難する

- 火災報知器等の設置を徹底しよう
- 災害時にとるべき行動を整理して、方南一丁目地区の「タイムライン」を作成できるとよい

② 避難路の安全性を高める

- 避難路を標識で示しておくなど、普段から見える化してはどうか？
- 通れなくなる可能性が高い道路を把握しておこう
- 助成金を活用して危険ブロック塀を撤去し、緊急時に通れるような生垣を増やせないだろうか？

③ 拠点となる場所を確保・強化する

- 現代版の隣組が必要。防災キャンプなどのイベントや、SNS（例 LINEグループ）の活用ができないだろうか？
- 町会で所有しているスタンドパイプを使える人を増やそう

